

健康と光線

新型コロナウイルス感染症

(COVID-19)

～ 見えない敵との共生 ～

医学博士 宇都宮 正範

はじめに

サナモアご愛用者の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの感染拡大、初の緊急事態宣言発令といった社会の急激な変化に、不安な日々をお過ごしのこととお察し申し上げます。

感染者数は、外出自粛の成果で減りましたが、都市部を中心として、いまだに一日数十名の新規感染者が報告されており、警戒を緩めることができない状態が続いています。しかしながら、最近では、「withコロナ」というワードが盛んに使わ

れるようになり、新型コロナウイルスを撲滅することは不可能なので、これから先、経済活動を維持しながら、どうやってこの厄介ものと付き合っていくかに舵が切られたように感じます。いつくるかも知れない第二波、第三波、そしてクラスター(感染集団)発生の恐怖に對峙しながら、私たちは、英知を結集して、この時代を生き抜くヒントを見つけ出さなければならぬのが現実です。

スウェーデンに見る

新型コロナウイルス対策

発行所
光線療法
普及協会
(年2回発行)

〒153-0063
東京都目黒区目黒
1-23-11
電話 (03)
5759-6333

新型コロナウイルス感染症の流行初期から「withコロナ」を見すえ、実践していた国があります。北欧のスウェーデンです。欧州諸国のほとんどが感染拡大防止のため、ロックダウン(都市封鎖)を実施するなか、個人に対する注意喚起に止め、強制力を伴うロックダウンはせず、緩やかに集団免疫獲得を目指しました。これこそ、「withコロナ」です。当初はこのやり方を賞賛する声もありましたが、人口比では、死亡者数が北欧ノルウェーの五倍に達したため、否定的な意見が増えています。

が高いと指摘。当のスウェーデンの専門家も、死亡例の約50%が高齢者施設で起きたことから、スウェーデン方式では、命を落とすのは高齢者だと注意を促しています。

その上、現状では、ロックダウンを実施したロンドン住民の抗体保有率17%に対して、ストックホルム住民の抗体保有率は73%にすぎないこと、ロックダウン実施国の新規感染者数は、ピークを越えると急速に減少に転じるにも関わらず、スウェーデンは米国に似て、感染者数の減少も緩やかで、死亡者数も高止まりしていることから、この戦略の評価は、今しばらく経過を見る必要があるようです。

突然の重症化

サイトカイン・ストーム

ところで、多くの新型コロナウイルス感染者の診療の中で、ある時点から急速に病状が進行、重症化して死に至るケースがあることが分かってきました。その重症化の要因とされる

サイトカイン・ストーム(免疫系の暴走は、文字通りサイトカイン(生理活性物質)の嵐ということになるのでしようが、本来、人の身体を守るべき免疫系が暴走し、コントロールできない状態に陥ることです。

一般には、ウイルス等の外敵が体内に侵入すると、免疫細胞が戦う準備を始め、サイトカインという物質が産生、放出されます。この時、過剰に産生されると、正常な細胞までもが損傷を受けてしまい、全身性に炎症反応が惹起、凝固系の異常も生じます。これが、血管内皮細胞に對して起きると血栓の形成につながり、血管は閉塞。脳動脈で起これば脳梗塞、冠動脈で起これば心筋梗塞の発症です。

2ページにつづく

夏季休業のお知らせ

八月十一日(火)から十三日(木)まで休業させていただきます。

(株)東京光線メディカル
サナモア治療院ソレイユ

1ページからつづく

これまで、65歳以上の高齢者、持病をもつ人、喫煙、透析、免疫低下状態等が、ハイリスクとされてきました。しかし、若い健康な人でもサイトカイン・ストームを起こす可能性があります。そのため、世代を問わず、全ての人が感染に注意しなければならぬのです。

また、厚生労働省が初期に出した指針では、この急速に進行する重症化のことまで考慮しておらず、発熱しても四日間は検査せずに自宅療養とされてきました。そのことにより、まじめに自宅待機していた方が、不幸な結末を辿ってしまった悲しい出来事は、記憶に新しいことと思います。

太陽光と

新型コロナウイルス

暗いニュースばかりでなく、「太陽光で新型コロナウイルス不活性化」という共生のためのヒントになりうる報告もありました。米国土安全保障省からの報告で、新型コロナウイルスが太陽光によって急速に不活性化するとしたも

ので、無孔質の表面にあるウイルス量は、温度21〜24度、湿度80%で、太陽光が当たるとわずか2分で半減。空気中に漂うウイルスの量についても、通常の室温、湿度20%の環境に太陽が当たると、わずか1分半で半減するとしています。

この報告に対しては、米コロンビア大学メディカルセンターの放射線研究センター所長を務めるデービッド・ブレナー氏が、太陽光に含まれる紫外線の多くは紫外線A波(UVA)に分類、UVAは日焼けの原因となるが、ウイルスに有害であるとは一般に証明されていない。一方、波長の短い紫外線C波(UVC)は、動物細胞やウイルスの遺伝物質を傷つける性質が強く、殺菌ライトにも広く使用されているが、大気に吸収されるため、地上に到達する太陽光内には存在しないと問いかけてきた。

しかし、実際に研究の指揮をとったロイド・ハフ氏は、研究で使用した紫外線ライトの種類について、自然の太陽光に近いものに設定したと説明。具体的には、北緯40度の中緯度地域に

おいて、立夏の正午頃、海拔ゼロ地点でみられる太陽光を想定したとのことですから、他の細菌やウイルスと同様、新型コロナウイルスも、太陽光を苦手としていることは明らかでしょう。

ビタミンD不足は

危険信号

英国の欧州における研究では、ビタミンDの血中濃度が低い国ほど新型コロナウイルスの感染率、死亡率が高いことが報告されました。もともと、インフルエンザにも有効とされるビタミンDは、免疫力を高める作用を有し、免疫機能を必要だけ働かせることから当然の結果かもしれせん。

このように免疫系に深く関わるビタミンDですが、日本では、最近、過度の紫外線対策にはる20代から30代の女性の間で、低値であると懸念されています。ビタミンDを含む食物の摂取だけでは十分ではなく、適度な日光浴または光線療法により、ビタミンDを自身の身体で合成する必要があります。あることを忘れてはいけません。

なお、ビタミンDは、他のビタミンと異なり、ホルモンのように種々の臓器に働きかけるため、ビタミンDが不足することにより起きやすい様々な病気が明らかにされています。

ビタミンD不足で

起きる病気

- ・免疫力低下による感染症
- ・骨粗鬆症、骨軟化症、くる病など骨疾患
- ・高血圧、糖尿病、心臓病、うつ病、乾癬
- ・多発性硬化症、神経疾患
- ・大腸癌、乳癌、前立腺癌、卵巣癌など悪性腫瘍

見えない敵との共生

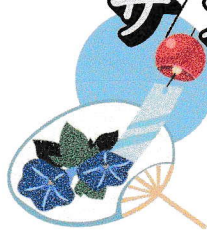
いま世界は、「withコロナ」時代を見送って、様々な取り組みを始めていますが、共生を成功させるための要因は、大きく外的要因と内的要因に分けて考えられます。外的要因は、医療体制の強化、医療ビッグデータの活用、「三密」に集約された人々との接触機会に関する社会環境的なことで、内的要因は人の免疫力といつことになります。日本は

少し内的要因を軽視しているようにも感じますが、最後は個々の体力であり、免疫力です。

今年の秋から冬は、新型コロナウイルスだけでなく、普通感冒の原因ウイルス、インフルエンザ、細菌が襲いかかってくる予定です。当然のことながら、新型コロナウイルスワクチンは間に合いません。ですから、インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンは接種しておいた方がいいでしょう。そして、少しでも免疫力を高める努力をしてください。

ここ数か月間の外出自粛生活により日光浴不足に陥り、体内のビタミンD備蓄量が低下している方がたくさんいます。太陽光に含まれる紫外線が、皮膚に当たるとビタミンDは合成され、これだけで免疫力向上につながり、感染症対策になるのです。もちろん、サナモア光線療法でも同じことが言えます。いつからか太陽の恩恵を忘れてしまい、日光に浴たることを避ける現代人の生活習慣こそ、「withコロナ」時代に見直されるべきなのかもしれません。

サナモア便り



vol.76 宇都宮 正範

弊社は、政府の緊急事態宣言発令を受け、四月八日から五月十六日まで、対面での営業を中止とし、電話での注文対応のみ行なって参りました。また、残念ながら、四月二十五日の光と熱研究会、五月二十二日の中国支部講演会は、開催中止とさせて頂きました。

この間、ご愛用者様から多くの励ましのお言葉を頂戴致しましたこと、この紙面を借りて御礼申し上げます。今は、皆様のご健勝と、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を祈るばかりでございます。

今後の講演会予定

サナモア東北支部講演会
日時：九月十一日(金)

午後二時から

会場：仙都会館 8F会議室

住所：仙台市青葉区

中央2-2-10

電話：02222224187

交通：JR仙台駅から徒歩10分

サナモア九州支部講演会

日時：十月九日(金)

午後二時から

会場：福岡商工会議所

会議室403、405

住所：福岡市博多区

博多駅前2-9-28

電話：0924411110

交通：JR博多駅博多口から

徒歩10分

第五十二回

「光と熱研究会」

関東支部講演会のお知らせ

「光線療法のもつ力」

～感染症を考える～

日時：十月十七日(土)

午後二時から

場所：目黒区民センター

中小企業センター

五階会議室

【お願い】

講演会につきましては、感染症対策を施した上で行う予定でありますが、今後の流行状況により、中止せざるを得ない場合もございます。お手数をおかけ致しますが、ご参加を希望される方は、開催の是非をご確認の上、ご来場くださいますようお願い申し上げます。

また、感染症対策として、皆様にはあらかじめ体温測定を行い、平熱であることを確認の上お越し頂き、会の最中は常時マスクの着用をお願い致します。

第二十五期

サナモア光線治療師

養成講座延期のお知らせ

先にお知らせしました六月の養成講座につきまして、緊急事態宣言は解除されましたが、現状での開講は難しいと判断し、八月に延期することを決定致しました。ご参加を希望されていた方には大変申し訳なく、また、本来であれば、感染症対策として有効な光線療法を理解して頂

く機会となる養成講座は開講すべきところでございますが、お越し頂く皆様の安全を第一に考えて、延期を決めた次第です。なお、現時点では、左記日程にて東京で開講する予定ですが、最終的な開講の是非の判断は、八月十五日と考えております。また、感染症対策は、講演会に準じた形でと考えておりますので、何卒ご協力の程お願い申し上げます。

開講日程

8月28日(金)、29日(土)の2日間

* 初日は午前9時に集合

講座内容

- (1) サナモア光線療法の基礎と生物学的作用
- (2) 光線治療器のメンテナンス法
- (3) ルーフ式全身多灯照射療法の実践
- (4) 医学総論
- (5) 関係法規・開院のための準備

資格取得者の特典

- (1) サナモア販売における代理店資格の取得
- (2) サナモアの名称使用
- (3) 治療院を開業する際の指導
- (4) 「健康と光線」への治験例投稿

申し込みの締め切り：8月21日(金)

治験例報告

サナモアで

全身性の湿疹を治療

神戸市 ウエノ光線療研

上野 郷子氏 報告

TEL 078-331-3358

症例 40歳 女性

症状 幼少期から全身性の湿疹のために病院を転々とし、漢方

も含め様々な治療を試してきたが、治っても一時的で再発を繰り返していた。光線治療を開始した時の皮膚の状態は非常に悪く、痒みも強く辛そうであった。

療法経過 皮膚の発赤が強く、

掻痒感が著しい箇所には、BC

カーボンを用い、第一集光器を使用して各20分以上照射した。

他にA Bカーボンで足裏を30分、膝、腰部、腹部に各10分照射。

A Aカーボンで背部を20分、A

Bカーボンで集光して後頭部、喉を各10分から15分照射した。

光線治療開始後、一、二週間で痒みが軽減し、熟睡できるよう

治験例報告

乳癌に対する

サナモア使用経験

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏 報告

TEL 092-581-0339
五七二一五七三

症例 70歳 女性

症状 サナモアご愛用者。久し

ぶりの電話で、乳癌と診断され病院での治療を開始したが、サナモア光線療法も併用したいと話された。

療法経過 ①当初の治療はBD

カーボンにて、乳房、腋窩部の

になり、三か月程の経過で、皮膚の状態はすっかり改善した。皮膚疾患の治療に当たっては、なるべく皮膚を引っ掻かせないようにすることが必要です。そのためには、痒みを抑えることがポイントとなり、紫外線の有する止痒効果が果たす役割が大きいと考えます。

長年にわたる治験例報告に

心から感謝致します



海渡一二三先生(川崎市 東京光線治療院)から、ご高齢を理由に、今後の投稿を辞退したいとのこと連絡を頂戴致しました。

先生は、福岡、広島にて光線療法の普及を行った経験を基に、昭和30年代、丸子通りにて光線治療院をご開業されました。以降、多くの患者様の治療に携わる傍ら、全国療術師協会での活動、そして貴重なご自身の治験例を長年にわたり、「健康と光線」にご投稿くださいました。

先生の治験例報告で、病気で悩まれている多くの方が、勇気づけられたことと思います。

これまで本当にありがとうございました。

宇都宮 正範

BDカーボンで照射するよう指示した。

③その数か月後の電話で、これまでの治療経過について説明された。乳癌は最初3cmだったのが、今は2mm程度まで縮小。(骨(頸椎、胸椎)には10日間放射線照射。その後、5回程抗癌剤

治療を施行し、現在、骨転移病巣も縮小傾向にあるとのこと。病院で癌と診断されてから、毎日、数時間光線治療をしてきたが、これからも辛抱強く光線治療を続けると話され、私もホッと胸をなでおろした。

体験談報告

難治性のアレルギー性

皮膚湿疹を治療（後編）

岩手県 金野 奈美様 報告

光線治療を始めて三週間が経った頃、ただれていたこめかみから、膿や血が浸みだしました。一時的にひどくなるとは聞いていましたが、これまでの薬等、体内に押し込められていた物質が出てきているのだから出し切ろうと、涙を流す娘に言い聞かせました。私も顔をガーゼでおさえる娘を見て、一緒に泣いたことを覚えています。

週に一回の光線治療と時々の整皮を行った次の日は、膿が排出され、穴が開いたような皮膚になります。その後、光線をかけると皮膚がツルツとしていくことに気付き、少しずつ確実に良くなっていました。娘も手応えを実感したのか、エスピ

オさんに対して心を全開に信頼し始めるようになり、四か月が経過した頃には、顔は赤らみを残しただけで、ボコボコだった皮膚もツルツルになり、マスクを外すこともできました。そこに至るまで、何日も通いましたが、遅い時間にも対応していただき、行く度に娘を励まし、体調も気遣い、母親の私以上、娘に寄り添ってくれたスタッフの皆さんの姿勢には脱帽でした。そして、12月の修学旅行にはマスクを外して行きたいという目標を待たずに、夏の終わり頃には、あのひどかった状態がウソのように治っていたのです。娘には笑顔が戻り、もう涙なんて流しません。すっかり、明る

さを取り戻していました。それだけではありません。部活動では、キャプテンにもなりました。より一層動きまわり、あまりにやんちゃぶりを発揮したため、腰を痛め、肉離れも起こしましたが、光線をかけることで、翌日には痛みが楽になることも経験しました。

修学旅行も無事に終え、全ての行事は、どれもが青春の一ページを飾るに相応しい写真でいっぱいでした。とくに部活動は、ケガがつきもので仕方ないにしても、ケガの治りは誰よりも早く、自分には光線があるという思いからか、誰よりも多くボールを触り、ボールを追いか

け、悔いなく終えることができました。

受験モードへの切り替えも早く、身体の悩みもなかったため、早々に大学も合格することができました。その報告のため、エスピオさんを訪ねた時、わが事のように一緒に喜んでくれたことを覚えておられます。卒業するまで、光線は続けました。こうして、春を迎え、光線や高価な化粧品等からも卒業でき、娘は、颯爽と大船渡から旅立ちました。

私たち親子は、エスピオさんとの出会いで本当に救われました。もちろん出費は大きく、生活は大変でしたが、子供の笑顔が消えていくことの辛さの方が大きく

苦しいものでした。あの頃の私は、お金がいくらあかろうが構わないという気持ちでした。とにかく必死でした。その思いにスタッフの皆さんが懸命に力を貸してくれ、勇気もくれました。本当に感謝しかありません。

もし、薬を飲んでも思っように治らない方がいらっしゃるなら、是非、この光線を体験して欲しいです。きっと、いいえ、絶対に解決してくれそうです。苦しい日々がウソのように思える日が必ず来ます。命より大切な我が子の笑顔を取り戻してくれた光線は、病んでる方の未来をも明るく照らす光になることでしょう。



写真①②：治療開始前



写真③：治療にて改善





本社社屋全景

株式会社 東京光線メディカル

創業八十八周年

治療院ソレイユ 設立二十周年 大垣事業所 設立十周年

幻となりました東京五輪イヤー2020年は、弊社に取りましても創業八十八年となる節目の年でした。創業者である宇都宮義真が、1932年(昭和七年)に芝白金台町で東京光線療法研究所を創業した時、ここまで続くとは想像していなかったことと思います。途中、第二次世界大戦での空白期間はありませんでしたが、今日に至るまで、曲がりなりにも続けてこられたのは、サナモアご愛用者様のお蔭と心から感謝申し上げます。

また、2000年のミレニアムイヤーに開業した弊社の付属治療院も、無事に20周年を迎えることができ、2010年に大垣事業所の運営が弊社に移管されてからも10年がたちました。

これらが重なった2020年ですが、世界は新型コロナウイルス感染症の猛威に脅かされています。弊社は、現状を真摯に受け止め、憂うつことなく、そしてこれからの明るい未来に向けて、サナモアで皆様の健康を支え続けたいと願っております。

宇都宮光明(前代表)

令和二年春の叙勲の栄誉

弊社の記念すべき年と重なるように、株式会社東京光線メディカル前代表宇都宮光明85が、旭日単光章を授与されました。



創業者宇都宮義真から引き継ぐ形で全国療術師協会に参加し、平成七年から二年間理事長を務めた後、平成九年から現在に至るまで、副理事としての活動が認められたもので、なかでも、昭和六十三年の財団設立に当たっての功績が評価されました。

弊社にとりましても誠に喜ばしいことで、ここに報告させて頂きます。

SanaMore

光線療法普及協会

趣意書

光線療法普及協会は、日光が健康を増進する自然の恵みの源泉であり、病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、光線療法の啓蒙、普及活動に努め、皆さまの健康維持に貢献します。

光線療法普及協会は、サナモアに対する認知と評価を高めるため、

- 一、季刊紙、「健康と光線」の発行
 - 二、サナモア光線治療師の養成
- の事業を行います。

光線療法普及協会

医学博士 宇都宮 正範

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-23-11

光線療法普及協会TEL(03) 五七五九-六三三三

(本紙の無断転用を禁止します。)